

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月31日

計画の名称	宮古市宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当	○				
交付対象	宮古市													
計画の目標	宅地耐震化推進事業の促進を図るために第二次スクリーニング調査を行い、今後の滑動崩落防止対策につなげることで災害に強い安全な地域づくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		11	A	11	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R2末	R3
1	市域全体の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング調査実施に向けた優先度の評価を行う。 第二次スクリーニング調査実施に向けた優先度評価の実施	0%	100%	100%
2	第二次スクリーニング計画において調査優先度が高いと評価された大規模盛土造成地に対して地盤調査等を行う。 第二次スクリーニング 調査実施箇所/調査対象箇所 [N=48箇所]	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	宮古市	直接	宮古市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング(ボー リング調査及び地質解析等)	宮古市						11	-	
											小計						11		
											合計						11		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮古市において事後評価を実施。	令和4年5月
	公表の方法
	ウェブページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング計画において「優先的に第二次スクリーニングを行う必要がある」と評価した大規模盛土造成地（1か所）に対し、詳細地盤調査及び安定性評価等の第二次スクリーニングを実施した。これにより、当該盛土の安全性を確認することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・第二次スクリーニングにより、本市の大規模盛土造成地には、危険な箇所が存在しないことを確認した。 ・今後も大規模盛土造成地マップの公表を継続するとともに、宅地防災パトロールの強化を図っていく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
造成年代調査、現地踏査及び優先度評価等を行うことにより第二次スクリーニングの必要がある大規模盛土造成地（1か所）を抽出した。		
目標値を達成した。		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
第二次スクリーニング計画において優先的に第二次スクリーニング調査の必要があると評価した大規模盛土造成地に対して、詳細地盤調査及び安定計算等を行った。		
目標値を達成した。		